

開催日時：2002年2月19日（火） 13:00～18:20

場 所：大津プリンスホテル コンベンションホール「淡海」

1 決定事項

- ・ 琵琶湖部会としての中間とりまとめに向けて、作業部会を設置する。
- ・ 作業部会のメンバーは、立候補を基本とし、その状況を見て調整する。会議中には、倉田委員と村上委員の2名からの立候補があった。
- ・ 欠席委員も含めて、庶務から再度希望を伺い、一週間以内にメンバーを決定する。

2 審議の概要

（1）前半の部：意見聴取・反映に関する試みの会（13:00～15:00）

会の趣旨等の説明

庶務より、意見発表者候補選出の流れについて説明があり、その後、部会長より、開催趣旨が説明された。

一般からの意見発表および委員との意見交換

- ・ 6名の意見発表者より1人5分で意見発表が行われた。前半3名、後半3名の方に発表頂き、委員から発表者への質問や意見交換、一般傍聴からの意見聴取が行われた。
- ・ 意見発表者からは、世代をつなぐ水文化の見直しの必要性、琵琶湖湖岸の侵食に関する問題、河川の水質保全のあり方、学習教材としての琵琶湖の活用、水源地での工事認可の見直し等の問題提起がなされた。

（2）後半の部：会 議（15:20～16:20）

検討課題（総論）について

資料3-1、3-2を用いて、社会・流域全体の視点（水循環、物質循環）および整備・計画の視点（整備・計画・事業・管理のあり方、市民や行政間のパートナーシップなど）に関する検討課題についての意見交換が行われた。

河川管理者より、次回部会で予定されている治水の検討課題に関する意見交換の参考として、資料4を用いて、治水に関する問題提起が行われた。

一般からの意見聴取方法について

一般からの意見聴取とその反映方法について意見交換が行われた。

中間とりまとめについて

部会としての中間とりまとめの進め方等について、部会長より提案があり、1のとおり了承された。

傍聴者からの意見

一般傍聴者2名の方から、流域委員会活動についてもっと一般へ周知すべきという意見と本日の部会で議論された検討課題に関する具体的な提案があった。

このお知らせは委員の皆様に必要な決定事項などの会議の結果を迅速にお知らせするため、庶務から発信させて頂くものです。審議の主な内容については「結果概要」を、発言の詳細については「議事録」を参照下さい。